



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子3回戦

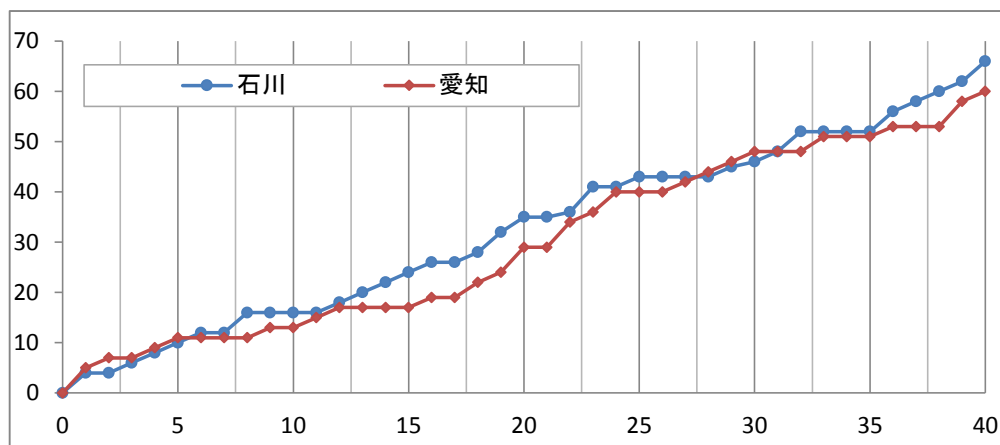
主審 御手洗 亮 (大分)
副審 甲木 善徳 (福岡)

石川 66
○

60 愛知
●

16 - 13
19 - 16
11 - 19
20 - 12
-

No. 20C-1 日時: 2014年10月20日(月) 10:00 会場: 長崎県立総合体育館



石川

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	朝倉 翼 (C)	8	1	2	1	2	7	1
5	* 濱高 康明	8	1	2	1	2	9	5
6	山瀬 翔平	0	0	0	0	0	0	0
7	* 涌波 茄生	15	0	4	7	0	4	4
8	* 高澤 慎太郎	4	0	2	0	0	0	1
9	請田 佳彦	-	-	-	-	-	-	-
10	* 大倉 龍之介	17	1	6	2	1	9	4
11	酒井 達晶	-	-	-	-	-	-	-
12	* 古村 健一	8	0	4	0	3	6	1
13	石垣 駿	6	0	2	2	2	4	0
14	小室 悠太郎	0	0	0	0	0	1	0
コーチ	黒坂 昭弘					0		
合計		66	3	22	13	10	40	16

愛知

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	稲見 和也 (C)	2	0	1	0	0	0	0
5	* 福岡 博貴	6	0	3	0	3	7	1
6	ビリンバ 実会	8	0	4	0	4	14	0
7	* 鈴浦 雅大	11	1	4	0	2	2	2
8	* 宮道 雄斗	11	3	1	0	2	2	0
9	内海 祐太郎	-	-	-	-	-	-	-
10	岡野 佑紀	2	0	0	2	1	0	0
11	* 遠藤 和希	8	2	1	0	4	1	4
12	* ザン 歌	10	0	5	0	2	10	1
13	鈴木 空	2	0	1	0	1	2	0
14	高橋 理輝	0	0	0	0	0	5	2
コーチ	常田 健					0		
合計		60	6	20	2	19	43	10

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

3回戦、石川県対愛知県。1Q、両チームともマンツーマンでスタート。石川県は攻守の切替えの速さで、愛知は高さを生かしたプレーで得点を重ね、中盤まで互角の試合展開になる。残り1分石川県が速攻から#5のシュートで16-13となり石川県が3点リード。2Qも一進一退の攻防が続く。残り3分、速攻が決まりだした石川県が#7のドライブインや#10のシュートが連続で決まり26-19で愛知県がタイムアウト。その後、愛知県も#6のリング下のシュートで応戦するも35-29で前半を終了。3Q、流れを変えたい愛知県はゾーンでスタート。そのゾーンに対し石川県のシュートが中々決まらない。その間、愛知県は、#6のリング下のシュートや#11のドライブインで残り1分に逆転し48-46で愛知県リード。4Q、お互い速い展開で競り合う中、残り3分石川県の#7の絶妙なアシストパスで得点し60-53となったところで愛知県がタイムアウト。その後、愛知県#8の3Pが決まり、62-58残り1分で石川県のタイムアウト。その後、石川県#10、#7のシュートで得点を重ね逃げ切った。両チームとも攻守の切替の早いチームで見応えのある試合だったが、終盤の競り合いを制した石川県が、準々決勝進出を決めた。

記者 松瀬 正人 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子3回戦

主審 白川 一樹(香川)

副審 井元 誠(熊本)

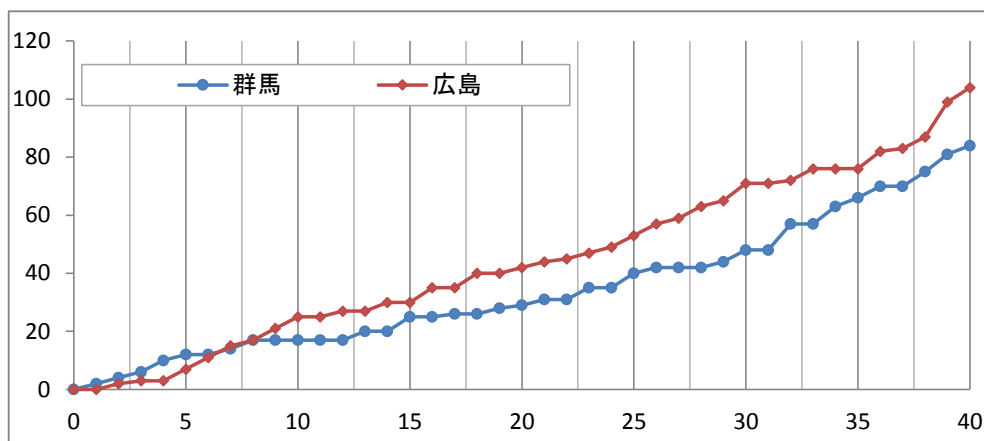
群馬 84

17 - 25
12 - 17
19 - 29
36 - 33
-

104 広島

○

No. 20C-2 日時: 2014年10月20日(月) 11:45 会場: 長崎県立総合体育館



群馬

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 石橋 倅祐 (C)	15	3	3	0	5	4	3
5	* 五十嵐 蒼	17	2	5	1	2	1	2
6	* 小川 綾介	14	0	6	2	5	6	0
7	* 今里 遼太	2	0	1	0	4	8	1
8	* 福島 瑠也	20	4	2	4	5	8	2
9	斉藤 雅彦	6	2	0	0	1	3	0
10	小林 知矢	0	0	0	0	1	1	1
11	荒木 公士	0	0	0	0	1	1	0
12	土田 直輝	0	0	0	0	0	1	0
13	田中 佑哉	8	0	3	2	2	2	4
14	荒木 友弘	2	0	1	0	3	0	2
コーチ	渡辺 英輔					0		
合計		84	11	21	9	29	35	15

広島

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 佐々井 雄大 (C)	6	0	2	2	3	6	5
5	* 山崎 翔梧	30	1	7	13	3	11	4
6	* 小栗 尚幸	29	1	11	4	2	13	3
7	豊田 湧一郎	-	-	-	-	-	-	-
8	* 吉崎 綾汰	17	0	6	5	3	10	0
9	茂刈 皇希	2	0	1	0	0	2	0
10	檜作 昌慶	2	0	1	0	2	0	1
11	松浦 慎哉	3	1	0	0	0	3	0
12	* 伊森 響一郎	13	0	4	5	1	11	1
13	江尻 駿也	-	-	-	-	-	-	-
14	河野 拓海	2	0	1	0	0	0	0
コーチ	藤井 貴康					0		
合計		104	3	33	29	14	56	14

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

1Q、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。群馬県は激しいディフェンスをしかけるが、ファウルが多発。残り8分でチームファウルが5つになりゾーンに変更。広島県は#6のフリースローや#5のジャンプシュート、群馬県は#6がカットインやジャンプシュートで得点を重ね、一進一退の攻防。群馬県がマンツーマンに戻したところで広島県は強気のオフェンスを続け17-25で終了。2Q残り6分、広島県#5のリバウンドシュートがファウルを誘いフリースロー、落ち着いて決め30-21とする。残り2分広島県#11、#6が連続得点し26-40となり群馬県がタイムアウトを取るが、結局42-29と広島県リードで前半終了。3Q、群馬県はディフェンスをオールコートマンツーマンにする。しかし攻撃の起点になる#8が4つ目のファウルで交代してしまう。広島県はこの機に乗じて#12がフリースローやジャンプシュートで得点し42-61となる。その後も#6のドライブインなどで加点し48-71で終了。4Q群馬県は#6をコートに戻すが残り8分5つ目のファウルを犯し退場。しかし勝利を目指しオールコートでボールを奪いに行く。群馬県は#4、#8の3Pなどで追いつがる。残り5分群馬県#5のシュートが決まり68-76となり広島県はタイムアウト。ここで広島県#5が相手のディフェンスを切り崩し、勢いを取り戻し得点を重ねる。群馬県は最後まで必死に戦うが、広島県も強気に攻め続け104-84で勝利した。

記載者 汐碓 淳一 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子3回戦

京都 93

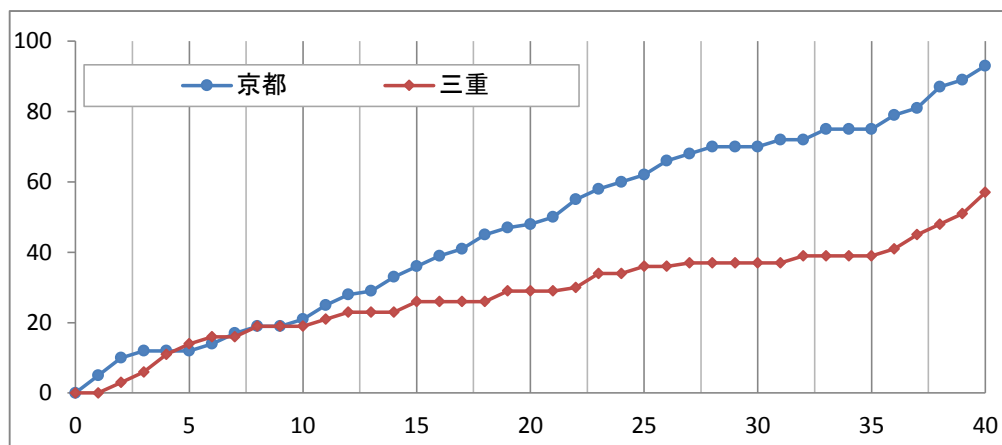
21 - 19
27 - 10
22 - 8
23 - 20
-

57 三重

主審 加川 真(宮城)

副審 比嘉 涼太(沖縄)

No. 20D-1 日時: 2014年10月20日(月) 10:00 会場: 長崎市民体育館



京都

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 村井 大陸 (C)	7	0	3	1	0	8	5
5	* 菅 祐史	13	3	2	0	1	2	1
6	富田 頼	8	0	3	2	0	10	0
7	* 澤田 絢以	4	0	2	0	1	3	1
8	* 岡田 卓也	4	0	2	0	0	1	0
9	高田 颯斗	7	1	1	2	2	4	3
10	山口 直紀	11	0	3	5	3	3	1
11	寺嶋 良	4	0	2	0	0	6	0
12	荒川 颯	6	0	2	2	0	1	2
13	* 田邊 陸也	22	0	7	8	1	7	1
14	鈴木 悠介	7	0	3	1	2	7	1
コーチ	吉田 裕司					0		
合計		93	4	30	21	10	52	15

三重

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	石垣 尚輝 (C)	0	0	0	0	2	0	0
5	* 安藤 拓巳	10	2	2	0	4	3	0
6	田畑 雄一郎	3	0	1	1	0	4	2
7	高野 一輝	0	0	0	0	1	2	2
8	* 春日部 貴成	4	0	2	0	3	1	2
9	伊藤 裕貴	0	0	0	0	1	0	0
10	吉江 悠	5	0	2	1	4	7	0
11	佐脇 考哉	9	3	0	0	1	2	0
12	* 説田 空隼	6	0	2	2	1	3	5
13	* 余語 幸樹	16	5	0	1	4	1	1
14	* 杉野 晴輝	4	0	2	0	2	9	1
コーチ	水谷 幸司					0		
合計		57	10	11	5	23	32	13

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

3回戦、京都府対三重県の試合は、1Q両チームともオールコートマンツーマンでスタート。立ち上がり、京都#5の連続ポイントなどで10-0とし、開始2分三重1回目のタイムアウト。三重も#5の3Pで反撃開始。さらに#13の3Pで12-14と逆転に成功。三重はディフェンスをオールコートゾーンプレスに変更し、試合は互角の展開となる。対する京都もオールコートゾーンプレスで対抗し、目まぐるしく攻守が入れ替わる。1Qは21-19で接戦の様相となる。2Q、京都は激しいプレッシャーディフェンスからの速い展開で連続して得点し、28-21とリードを広げる。三重はアウトサイドシュートで対抗するが、厳しい京都のディフェンスを攻めあぐねる。三重は2回目のタイムアウトを取るが、流れは変わらない。36-26となったところで、三重は再度オールメンバーチェンジで仕掛けるも、主導権を渡さない京都が48-29と点差を広げて前半を終える。3Q、両チームともマンツーマンでスタート。三重は1分に#5、3分には#13が続けて4ファウルとなり、ベンチに下がる苦しい展開となる。京都は#5の速攻などで着実に加点し突き放す。残り2分半、68-37となったところで、三重は#5をコートに戻すがシュートはリングに嫌われ70-37で3Q終了。4Q、三重はオールコートゾーンプレスで何とか活路を見出そうとし、#14のジャンプシュートで得点するが、京都も#9の3Pで追い上げを許さない。終盤、三重は#13の連続3Pで追撃するが、最後まで攻撃の手を緩めなかった京都が93-57で勝利した。敗れたとはいえ、懸命にボールを追い続けた三重の頑張りには拍手を送りたい。

記載者 吉野 聖司 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

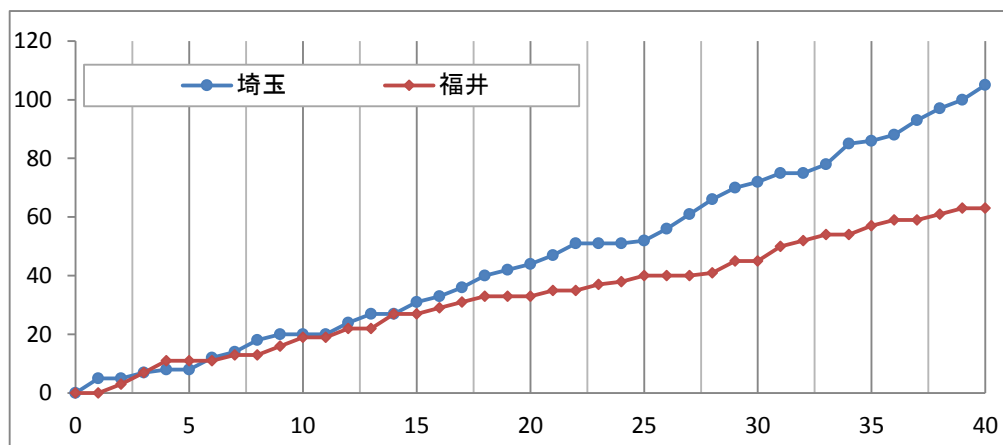
競技記録

少年男子3回戦

主審 大山 直輝 (山口)
副審 紀伊 孝哉 (佐賀)

埼玉 105 ○ 63 ● 福井

No. 20D-2 日時: 2014年10月20日(月) 11:45 会場: 長崎市民体育館



埼玉

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 波多 智也 (C)	14	0	5	4	3	3	4
5	奥住 将人	10	2	2	0	2	6	7
6	* 斎藤 弥羅	11	0	3	5	5	10	2
7	村上 飛雄馬	2	0	0	2	0	0	0
8	田村 敦哉	3	1	0	0	0	1	0
9	御嶽 祐之介	7	1	0	4	1	7	1
10	八木 翼	2	0	1	0	1	2	0
11	* 足立 義輝	11	1	4	0	3	4	2
12	* 高橋 颯人	12	2	2	2	1	5	0
13	* 竹内 悠貴	29	0	13	3	3	24	0
14	五十嵐 正也	4	0	2	0	1	5	3
コーチ	大久保 英人					0		
合計		105	7	32	20	20	67	19

福井

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	大崎 翔太	4	1	0	1	1	3	1
5	* 清水 子清	10	0	2	6	2	5	2
6	朝井 佳祐	0	0	0	0	1	1	0
7	高木 慎哉	2	0	0	2	1	1	0
8	* 苗田 将輝	13	1	4	2	4	4	3
9	横地 夏樹	6	0	2	2	4	4	1
10	* 佐藤 大地	11	0	3	5	3	3	0
11	* 緒方 堅也	6	1	1	1	2	2	0
12	中村 ジャズ	-	-	-	-	-	-	-
13	* 八角 亮 (C)	11	1	4	0	2	3	1
14	松山 駿	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	久井 茂稔					0		
合計		63	4	16	19	20	26	8

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

3回戦、埼玉県対福井県。1Q、埼玉はハーフコート、福井はオールコートのマンツーマン。埼玉は#6のレイアップ、#12の3Pで立て続けに得点しリード。福井も#11の3Pなどで7連続得点、すぐに逆転する。中盤にかけ、埼玉が速攻や#13のインサイドプレーで加点、再び逆転する。福井も終盤に#13の3Pが決まり、埼玉の独走を許さない。両者互角の展開となり、20-19で1Qを終える。2Q立ち上がり、埼玉は#5の3Pなどで5点差をつけるが、福井も#5のフリースロー、#8の3Pで同点に追いつく。中盤に入ると、埼玉が#6の合わせなどで徐々に点差をつけていく。残り3分、福井がタイムアウト。福井はドライブからファウルをもらい、フリースローで加点する。埼玉のインサイドの堅い守りが目立つ。終盤、埼玉が早い展開から3連続で得点。44-33で前半を折り返す。3Q、埼玉#11がドライブからのレイアップで得点。勢い付いた埼玉はそこから連続得点。16点差に広がり、福井がタイムアウト。その後も福井は果敢にドライブを仕掛けるが、埼玉が#13を中心に堅実な守りでこれに対処。終盤にかけ、リバウンドも支配し始めた埼玉が一気に点差を広げ、72-45で3Qを終える。4Q、福井は#4の3P、#13の速攻からの連続得点で巻き返しを図るが、埼玉の勢いは止まらず、105-63で試合終了。

埼玉の強力なインサイドとスピードのある速攻が印象的な試合であった。

© 2014 長崎県バスケットボール協会
 記事者 植島 雄飛 (所属) 長崎県バスケットボール協会